【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2010-72267(P2010-72267A)
【公開日】平成22年4月2日(2010.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2010-013
【出願番号】特願2008-238902(P2008-238902)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　15/05　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/03　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/238　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　7/097　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　7/16　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　15/05
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　5/238　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　7/097
Ｇ０３Ｂ　7/16
Ｈ０４Ｎ　101:00

【手続補正書】
【提出日】平成23年9月12日(2011.9.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
暗所にてストロボ撮影を行う場合に、マイナス側の露出補正を行うことを特徴とするストロボ付き撮像装置の露出制御方法。
【請求項２】
前記露出補正の量は、階調補正によって、画像中の暗部の情報を再現できる程度のものであることを特徴とする請求項１記載のストロボ付き撮像装置の露出制御方法。
【請求項３】
前記露出補正は、シャッタ速度を変更することによって成され、その変更後のシャッタ速度が約１／８秒～約１／６０秒の範囲を越えないように制限し、その補正量は、－１ＥＶ又は－２ＥＶであり、撮影の仕方に応じて二者択一することを特徴とする請求項１又は請求項２に記載のストロボ付き撮像装置の露出制御方法。
【請求項４】
ストロボ光を発光する発光手段と、
被写体の露出を測定する測定手段と、
前記測定手段の測定結果に応じた絞り値とシャッタ速度とを設定する設定手段と、
前記ストロボ光の元で被写体の像を撮像可能な撮像手段と、
暗所において前記ストロボ光の元で被写体の像を撮像する際に前記測定手段によって測定された露出をマイナス側に露出補正する補正手段と
を備えたことを特徴とするストロボ付き撮像装置。

【請求項５】
前記露出補正の量は、階調補正によって、画像中の暗部の情報を再現できる程度のものであることを特徴とする請求項３記載のストロボ付き撮像装置。
【請求項６】
前記露出補正は、シャッタ速度を変更することによって成され、その変更後のシャッタ速度が約１／８秒～約１／６０秒の範囲を越えないように制限し、その補正量は、－１ＥＶ又は－２ＥＶであり、撮影の仕方に応じて二者択一することを特徴とする請求項４又は請求項５に記載のストロボ付き撮像装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項１記載の発明は、暗所にてストロボ撮影を行う場合に、マイナス側の露出補正を行うことを特徴とするストロボ付き撮像装置の露出制御方法である。
請求項２記載の発明は、前記露出補正の量は、階調補正によって、画像中の暗部の情報を再現できる程度のものであることを特徴とする請求項１記載のストロボ付き撮像装置の露出制御方法である。
請求項３記載の発明は、前記露出補正は、シャッタ速度を変更することによって成され、その変更後のシャッタ速度が約１／８秒～約１／６０秒の範囲を越えないように制限し、その補正量は、－１ＥＶ又は－２ＥＶであり、撮影の仕方に応じて二者択一することを特徴とする請求項１又は請求項２に記載のストロボ付き撮像装置の露出制御方法である。
請求項４記載の発明は、ストロボ光を発光する発光手段と、被写体の露出を測定する測定手段と、前記測定手段の測定結果に応じた絞り値とシャッタ速度とを設定する設定手段と、前記ストロボ光の元で被写体の像を撮像可能な撮像手段と、暗所において前記ストロボ光の元で被写体の像を撮像する際に前記測定手段によって測定された露出をマイナス側に露出補正する補正手段とを備えたことを特徴とするストロボ付き撮像装置である。
請求項５記載の発明は、前記露出補正の量は、階調補正によって、画像中の暗部の情報を再現できる程度のものであることを特徴とする請求項３記載のストロボ付き撮像装置である。
請求項６記載の発明は、前記露出補正は、シャッタ速度を変更することによって成され、その変更後のシャッタ速度が約１／８秒～約１／６０秒の範囲を越えないように制限し、その補正量は、－１ＥＶ又は－２ＥＶであり、撮影の仕方に応じて二者択一することを特徴とする請求項４又は請求項５に記載のストロボ付き撮像装置である。